

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2018年11月15日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



第2四半期決算概要

今後の取り組み

第2四半期決算概要

業績/前年同期比較

- 売上高:横ばい(△0.2%)
- 粗利益:増益(+5.9%)、粗利益率:21.5%(+1.3%)
- 営業利益:減益(△2.3%) ←--- cavirinにおける販売費と研究開発費の増加
- 経常利益:増益(+23.2%)、経常利益率10.7%(+2.0%)
- 四半期純利益:減益(△26.2%) ←--- 今期から連結対象子会社となったProximに関する一過性の評価損

	2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	差 異
売上高	19,959	20,002	△43
粗利益	4,294	4,053	+240
粗利益率	21.5%	20.3%	+1.3%
営業利益	1,727	1,768	△40
営業利益率	8.7%	8.8%	△0.1%
経常利益	2,139	1,736	+402
経常利益率	10.7%	8.7%	+2.0%
四半期純利益	851	1,154	△302
1株当たり四半期純利益	69.09円	94.33円	—

単位:百万円

業績/2Q業績予想(2018年5月発表)比較

単位:百万円

	2019年3月期 第2四半期		
	実績	業績予想 (2018年5月発表)	差異
売上高	19,959	19,000	+959
営業利益	1,727	1,850	△122
経常利益	2,139	1,850	+289
四半期純利益	851	1,200	△348
1株当たり 四半期純利益	69.09円	97.49円	—

売上高、経常利益:業績予想を上回る
 営業利益、四半期純利益は業績予想に届かず
 四半期純利益△29.0% → 第2四半期(累計)業績予想修正
 (2018年11月8日発表)

通期業績予想は変更せず

Proxim Wireless Corporation

本社：米国/サンノゼ

ベル研究所（AT&T研究部門）からスピンアウトした人達が50年前に創業

- ・ワイヤレスデータコミュニケーション分野の最前線で革新的ソリューションを提供
 - Intelligent Transportation System; ITS
 - 監視カメラ/無線通信
- ・業界水準の策定において積極的な役割を果たしてきた無線接続機器メーカー
- ・〔導入実績〕米国、カナダ、イギリス、スペイン、アフリカ、ブラジル等で多数
 - 例① カナダ/トロント交通局：交通システムの自動化、乗客へのアナウンス
 - 例② 米国/フィラデルフィア：街全体をカバーするWi-Fi通信
 - 例③ 米国/ニューヨーク市警察：2006年に設置開始。3,000以上監視カメラ/無線通信

今後のビジネス拡充に向け、財務体質の強化を図る

↓
連結子会社化

↓
特別損失として評価損を計上：260百万円(貸倒引当金)

↓
四半期純利益が業績予想値を下回る

Kingnet（本社：中国、当社持分法適用会社）
Risecomm（本社：香港、海外事業投資先）

■Proxim

- ① SRAグループのもとで、
Kingnet とのシナジーを活かし、合理化・効率化を図ると共に、
新規市場を開拓し、新しいビジネスモデルを強かに推進
- ② Kingnetとの協業によりビジネスシナジー拡大を図る
 1. Contract Manufacturer（CM）をKingnetに変更
 2. 低コスト新製品開発
 3. 中国市場開拓

■SRAグループ

- ① 継続してProximを支援
- ② Kingnet、Risecommのエンタープライズバリューも上げる



**投資資金の回収、
Proximの業績回復を図る**

前年同期比

開発事業、運用・構築事業が増収
販売事業は減収

単位:百万円

	2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	差 異
開発事業	10,652	10,115	+536(+5.3%)
運用・構築事業	2,356	2,281	+74(+3.3%)
販売事業	6,950	7,605	△654(△8.6%)
合 計	19,959	20,002	△43

売上高/顧客業種別（開発事業、運用・構築事業）

単位：百万円

	開発事業		運用・構築事業	
	2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績
製造業	4,697	4,063	506	429
通 信	404	325	330	337
電力・ガス	572	441	1	2
銀行・証券	2,843	2,342	593	435
生損保	169	217	88	103
流 通	447	506	7	0
大学等	296	343	438	413
サービス他	844	1,285	91	183
その他	376	590	297	374
合 計	10,652	10,115	2,356	2,281

〔販売事業〕

前年同期比 **〔減少（ $\Delta 8.6\%$ ）〕**

AIT、SRA：機器販売が減少

AIT 販売事業 売上高

単位：百万円

2019年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	差異
5,435	5,817	$\Delta 382$ ($\Delta 6.6\%$)

要因：前年2Q（中規模案件を複数受注）の反動減

高収益ビジネスへの集中により、

- 粗利益、営業利益、経常利益がいずれも増加
- 粗利益率も向上

収益分析（前年同期比）

粗利益：5.9%増
粗利益率：21.5%(+1.3%)

※粗利益、粗利益率のいずれも
2Q(累計・単独)で過去最高

〔増加要因〕

収益向上策の徹底/不採算プロジェクト撲滅
高収益案件を選択受注

営業利益：2.3%減

〔減少要因〕

販売管理費の増加：cavirinにおける販売費と研究開発費の増加

経常利益：23.2%増

〔増加要因〕

為替・受取利息等

四半期純利益 26.2%減

〔減少要因〕

特別損失の計上等：Proximに関する一過性の評価損

参考：グループ会社実績

単位：百万円

		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
SRA	売上高	9,053	19,142	9,469	20,055	9,544
	経常利益	711	2,741	1,566	2,878	2,190
AIT	売上高	6,202	11,903	6,657	11,093	6,356
	経常利益	462	980	592	1,028	713
ソフトウェア・サイエンス	売上高	1,193	2,512	1,313	2,537	1,249
	経常利益	137	323	161	331	136
SRA西日本	売上高	481	1,227	519	1,161	592
	経常利益	42	165	51	165	85
SRA東北	売上高	535	1,268	560	1,344	606
	経常利益	62	130	70	198	92
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	704	1,558	675	1,403	766
	経常利益	73	182	90	194	63
SRA OSS	売上高	905	1,993	960	1,841	987
	経常利益	△1	△188	△232	△390	△596
その他の子会社	売上高	542	1,209	686	1,655	785
	経常利益	30	73	25	88	48
子会社合計 (SRAを除く)	売上高	10,565	21,673	11,373	21,038	11,343
	経常利益	807	1,666	759	1,614	543

太字：前年同期比で増

株主を中心とする ステークホルダーの期待に応える

1株当たり 配当金

- 2017年3月期：90円・・・20円増配

中間配当金：30円＋期末配当金：60円

- 2018年3月期：110円・・・20円増配

中間配当金：40円＋期末配当金：70円（記念配当10円を含む）

- 2019年3月期：105円・・・普通配当5円増配

配当性向 46.1%（計画）

中間配当金：40円（確定）＋期末配当金：65円（計画）

株主還元さらなる充実を目指す

今後の取り組み

粗利益の確保／粗利益率の向上

2Q単独の
粗利益率は22.5%にUP

- ・案件を創出→確実に受注
- ・徹底したリスク管理
納期厳守・高品質・生産効率向上
- ・不採算／低採算プロジェクトの撲滅
- ・オフショア開発の優先活用

販管費の効率化／販管費率の改善 “機動的”に運用

cavirinにおける販売費と
研究開発費の増加！

- ・業務プロセス改善による効率化の推進
- ・(株)SRAプロフェッショナルサービス(シェアードサービスを担当)と
本社スタッフ部門の運営コストの削減

今後も施策の徹底により収益性向上を図る

①高い粗利益率が得られる

「自社IP製品ビジネス」へのシフトを強かに推進



「粗利益率」をさらに向上させる

②「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」により、 高い『収益性』を追求



2019年3月期 計画

単位:百万円

	2019年3月期 計画
売上高	40,000
粗利益	8,750
粗利益率	21.9%
販売管理費	4,350
販管費率	10.9%
営業利益	4,400
営業利益率	11.0%
経常利益	4,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,800
1株当たり当期純利益	227.22円
1株当たり配当金	105円

「技術のSRA」として
次の50年を創る

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。